

Vol. **170号**

Colony Tokyo

# コロニーとうきょう

2021(令和3)年  
1月1日発行

**コロニー** 社会福祉法人 東京コロニー  
〒165-0023  
東京都中野区江原町 2-6-7  
TEL 03-3952-6166  
FAX 03-3952-6664  
<https://www.tocolo.or.jp/>  
(法人本部 事務局)



アートビリティギャラリー 45 尾崎 わたるさん 『最果てまで』(詳しくは15頁をご覧ください。)

## 時評

2020年度上半期事業報告

とびっくす

法人の主な動きから

法人本部・コロニー中野・トーコロ生活支援センター・アートビリティ(〒165-0023 中野区江原町2-6-7)・中野区仲町就労支援事業所(〒164-0011 中野区中央3-19-1)・コロニーもみじやま支援センター(〒164-0001 中野区中野5-3-32)・トーコロ情報処理センター 事業部・職能開発室・デジタルメディアセンター(〒170-0005 豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル6F)・東京都葛飾福祉工場(〒125-0042 葛飾区金町2-8-20)・立石工場(〒124-0012 葛飾区立石8-50-1)・コロニー東村山(〒189-0001 東村山市秋津町2-22-9)・東村山市障害者就労支援室(〒189-0014 東村山市本町1-1-1)・東京都大田福祉工場(〒143-0015 大田区大森西2-22-26)・トーコロ青葉ワークセンター・トーコロあおば就労サポートセンター(〒189-0002 東村山市青葉町2-39-10)・国分寺戸倉寮(〒185-0003 国分寺市戸倉1-21-9)・東久留米第一氷川台寮・東久留米第二氷川台寮(〒203-0004 東久留米市氷川台2-31-22)・東久留米第三氷川台寮(〒203-0002 東久留米市神宝町2-14-26)・えはらハイツⅠ、Ⅱ、Ⅲ・中野江原短期入所・中野区日中一時支援(〒165-0023 中野区江原町3-23-2)・とよたまハイム(〒176-0014 練馬区豊玉南2-3-9)・天神山こあらハイツ(〒202-0013 西東京市中町3-10-9)・あおばハウスⅠ、Ⅱ(〒189-0002 東村山市青葉町3-2-2)

# 時評 法人経営を 改めて問う

理事長 中村 敏彦

はじめに

明けましておめでとうございませう。みなさまにとつて良い年でありますように、心より願います。

新型コロナウイルスは、発生以来1年が経過しますが、いまだに衰えをみせません。感染は拡大し正体不明という点では恐怖感さえ覚えます。一方、人類の知恵と工夫には改めて驚かされます。情報コミュニケーション手段としてリモートを活用することなど、あつと言う間に広がり定着しました。マスクの着用や手洗い・消毒、三密を避ける行動などの生活様式の変化にも、一部の抵抗を受けながらも多くが受け入れ、様々な方法で日々進化し続けています。短期間でも変化せざるを得ない状況には、しっかりと対応できる力を証明したと

言えるのではないでしようか。当面は、活動に制限があることに辛抱し、できることをしっかりと行いたいと思います。

元氣を出して乗り越えましょう。

## 新たな報酬改定について

2021年4月から新たな報酬改定が実施されます。まだ詳細は明らかになっていませんが、ここでは財務省に設置された財政制度分科会(11月2日開催)で使用された資料「社会保障について」から、障害福祉分野の内容について一部抜粋して触れてみたいと思います。

まず、障害福祉サービス等予算の推移では、『直近10年間で約2倍に増加し、サービスの利用者数や事業所数も約2倍に増加しており、今後、サービスの質と制度の持続可能性をとものに確保していくためには、事業者の収支状況等も踏まえて給付内容の効率化・適正化を行っていくことが必要不可欠である。ついては、真に障害者(児)のための支援となっているか、サービス内容の精査を行う必要がある。』として、予算が増加し続けている点と、サービスの質を問いつつ、持続可能性を確保することが強調されています。

予算の特徴としては、『過去10年間の平均伸び率は、社会保障関係費全体に比して約4倍で、著しく高い伸

びであり、利用者数の増加が予算額の増加に大きく影響している。利用者数の増加は、高齢化による影響は限定的であり、65歳未満の利用者数の増加が影響している。』として、社会保障関係費に比して非常に高い伸び率で、利用者数増加の要因は高齢化だけではないとしています。

そして、障害福祉サービス等事業者の経営状況では、『経営実態調査と経営概況調査によれば、近年の障害福祉サービス等事業者の収支差率は、中小企業を上回る水準であり、当該収支差には、「拠点間の繰入収入・支出(特別費用・特別収益)」が反映されているが、資金移動の中には収支均衡を目的として行われている例がある。』

ついでには、次期報酬改定においては、2020年度経営実態調査結果も踏まえて検討し、収支差率を踏まえた報酬水準の適正化を徹底するとともに、サービスごとの状況を踏まえてメリハリのある対応を行う必要がある。』としていきます。

新型コロナウイルス感染症の影響では、『短期入所のほか、生活介護などの通所を伴うサービスにおいて、一時的に給付費が減少しているが、短期入所を除き、6月以降は前年同月と比べて同水準程度に回復しており、今後とも感染状況の推移やそれに伴う事業への影響を見極めるが、感染

症対策等に伴う一時的なコスト増への対応であり、次期報酬改定において恒久的な措置を講じる対応は適切ではない。他方で、新型コロナウイルス感染症による影響には、地域別、サービス別にばらつきがあることに留意して単価を定めていることをはじめ、重点的・効率的な資源配分をしやすいつい障害報酬体系の特性を活かしつつ、メリハリをつけながら、新型コロナウイルス感染症の流行の収束までの臨時の報酬上の措置を講じることはあり得る。』と、あくまでも一時的かつ限定して長期化を想定していないようです。

就労系サービスでは「障害福祉サービス等全体の総費用額の約2割を占めており、2018年度報酬改定において実績に応じた報酬体系に見直しを行い、①就労移行支援では「一般就労への移行実績」、②就労継続支援A型では「平均労働時間の実績」、③就労継続支援B型では「平均工賃の実績」に基づくメリハリのある報酬を設定したが、依然として、実績が伴わない事業所が一定程度存在している。ついては、次期報酬改定においては、より質の高いサービス提供がなされるよう、これまで以上に実績に基づいたメリハリのある報酬体系を目指していくべきである。就労継続支援A型については、利用者へ支払う賃金は税財源の障害報酬ではなく生産活動収入で賄われる

べきとの観点から、生産活動収支が賃金総額を下回っている事業所に対して経営改善計画の提出を求めているが、約7割の事業所が経営改善計画の提出対象となっていない。利用者の賃金のさらなる向上を図るためには、平均労働時間の実績を評価することに加え、利用者のスキルアップのための取組など、賃金向上に資する質の高い取組を評価する報酬に見直す必要がある。』としています。

押しなべて、相当額の予算を確保して経営的には十分な財源が確保されているにもかかわらず、サービスの質や持続可能性については多くの課題を残していると分析しています。ついては、その分析が適切かどうかは疑問が残りますが、この度の報酬改定では、さらに実績評価を重要視することや、持続可能性を視野に入れて改定すると読めます。予算削減が優先されないことを願います。

### 法の下での経営というが…

障害保健福祉施策は、様々な変遷を経て現在の障害者総合支援法に至っています。その基礎は2000年の社会福祉基礎構造改革に策定され、一部の社会福祉事業を除き、これまでの行政措置から利用者が自らの意思で利用するサービスについて選択できる利用制度に舵を切りました。

2003年には支援費制度が公布され、従来の日本の障害福祉施策に大きな変化をもたらしました。ようやく選択の自由が適用されるようになったと思われましたが、予想以上のサービス利用による財源不足を主な理由として、わずか数年で廃止となりました。さらに、規制緩和により企業等の参加を促進し、福祉サービスの質に競争原理が導入されたのもこの改革によります。

そして、これらの課題を解決するために施行された法律が、2006年の障害者自立支援法でした。しかし、この法律は当事者不在で検討され、利用料の1割を利用者に負担させるという障害者福祉を事実上後退させるものでした。障害当事者や関係者の不満と批判が強く、国は障害者とその家族から違憲訴訟を起こされ、結果的に、法の廃止と見直しを約束した「基本合意」をもって訴訟の和解に繋がりました。

基本合意を基に、2009年に「障がい者制度改革推進本部」が設置され、障害当事者や家族団体の代表23人、事業者や支援者17人、学識経験者12人、自治体首長3人と合計55人で構成された総合福祉部会によって、2011年8月「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言」がまとめられました。この提言は、人権尊重を基礎として障害の概念を

医学モデルから社会モデルに位置付けた障害者権利条約を反映させたものとなっています。

新法は骨格提言に基づいて策定されるものと期待されましたが、残念ながら、その多くは反映されず、障害者自立支援法の改定版として障害者総合支援法となって施行されました。この20年の間に、障害者福祉の内容は大きく変化し、法人運営もまた、その度に変化せざるを得ませんでした。そもそも組織の活動や運営は、法の下で運営しなければならぬ側面を持ちます。公費の対象となっていない社会福祉法人なら尚更です。しかし、「障害者の完全参加と平等」を実現するためには、法を超えてでも行動しなければならぬことがあり、それを可能とする体制を作ることが必要となります。

### 改めて…思う

制度が変わる節目や、事業が厳しくなった時には、先代の方たちが口にしてきた「事業と福祉は両輪」という言葉を思い出します。目的を達成するためには、経営力が問われ、福祉サービスの質を確保し向上させるためにも、経営基盤の安定が前提になります。社会環境の変化によって役割も変化し、また、事業所や事業種別によって役割も異なりますが、法人運営には就労支援事業も福祉

サービス事業もどちらも重要であり、両輪で走っていることは紛れもない事実です。「障害者の自立と社会参加を支援する」という理念は、経営安定がなければ実現できません。

前述した報酬改定は、その度に事業収入の増減が発生し、場合によっては人員や組織体制をも変えなければなりません。現実問題、経営に大きな影響が及んでいます。法の課題には、他の団体と連携して運動することも重要です。加えて、減算の対象にならないよう福祉サービスの質を向上させることはもちろん、就労活動でしっかり支えるようにしたいと思っています。当法人事業の応援団や必要としている人たちは、私たちの努力に期待を寄せているのです。

今年は、1951（昭和26）年10月に事業を開始してから70年の節目の年となります。コロナ禍の中で、今年の大規模な企画は立てられませんが、日頃お世話になっている皆様に、改めて感謝の意を伝えられるようにしたいと考えています。

これまで支えていただいた企業や支援団体の皆様、地域自治体や住民の皆様、従業員の皆様、利用者の皆様には改めて感謝申し上げます。これからも当法人の事業運営に、ご理解とご協力、また、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

# 2020年度 上半期事業報告

※2020年9月末時点の報告書となります。

## 1. 総括

上半期の事業は、新型コロナウイルスの影響が大きく、事業計画を修正しつつも出来得る限りの事業運営で対応せざるを得ませんでした。利用者個別の状況に配慮しながら在宅支援等に対応し、従業員には、在宅勤務や勤務時間の短縮などを要請するなど、感染予防対策に全力を挙げ取り組んでいます。会議等においてはZoomを利用して開催し、厚生労働省や東京都で発出される通知等を周知、ならびに法人独自でも感染予防対策の徹底について通達等を発信し、拠点ごとの取り組みは適宜メーリングリスト等により情報共有に努めました。コロナ禍はいまだに収束の見込みが立っていませんので、継続して取り組むこととします。

国内では財政改革、社会保障改革、憲法改正への議論など様々な課題を抱えている中、世界規模に拡大したコロナ禍の影響は計り知れない状況であり、わが国の経済情勢への影響も避けられない事態になっており、

とりわけ雇用環境への影響が大きく出ています。加えてこの数年、過去に経験のない自然災害も続いており、法人経営においては、広範囲にわたる経営危機管理が求められています。向こう5年間の中期事業計画を見直す年度に充てていますが、先行きが不透明なこの状況においては、2021年度を起点とした計画は現実的ではないと判断し、コロナ禍の収束をみながら1年延長することとしました。引き続き、利用者一人ひとりのニーズを把握し、適切な支援が提供できるよう全力で努めたいと思います。

## 2. 上半期事業結果と年度方針の達成状況

本年度の事業方針は、障害福祉サービス事業の充実、ならびに就労支援事業を改善することでありました。しかし、コロナ禍の影響は深刻であり、様々な活動において一定の制限はやむを得ない状況となっています。

(1) 経営の基本方針

- ・ 経営理念や倫理、社会的役割に

伴うコンプライアンスやガバナンスを重んじた法人運営に継続して取り組んでいます。

- ・ 福祉サービスの質的向上のために、第三者サービス評価機関の審査は、利用者の聞き取りをリモートで予定し、苦情解決第三者委員制度の設置や広報誌やホームページ等による情報開示に取り組み、監事による内部監査も実施しました。
- ・ 法改正や業務改善などに伴う法人の規程等を必要に応じて見直ししました。

### (2) 財務・資金管理

- ・ 会計顧問の指導を受けながら、会計基準により精度の高い管理に努め、さらに外部会計監査人の指導を会計管理に反映させています。
- ・ 財務や資金管理について、法人本部は全体を把握し拠点間の窓口となつて調整に努めています。

(3) 事業の継続

- ・ 常に経営改善に視点を置き、持続可能な事業への体質改善を

図っています。とりわけ本年度は、新型コロナウイルスの感染予防を徹底し、経営の維持に最大限努力しています。

- ・ 新規事業を含めて早期の事業安定を目指し、将来必要となる建て替え等も想定して事業運営に取り組んでいます。しかし、当面は体力維持を優先課題とせざるを得ない状況となっています。

(4) 人材確保・育成

- ・ 継続的に求人広告をホームページや求人媒体に掲載し、人材確保に努めています。
- ・ 経営や福祉の専門性を向上することを目的とした教育、研修を計画しましたが、従来のような集合形態がとれず、Zoom等をつうじた内容を再考して実施しています。継続して人材育成に取り組むとともに、人事考課制度を活用して上長との面談等をつうじて風通しの良い職場環境づくりに努め、一人ひとりの活躍の場の充実を目指します。

(5)他の団体との協力連携

・障害者福祉の向上のために、各  
省庁ならびに、東京都、各区  
市自治体、全国社会福祉協議会、  
東京都社会福祉協議会、一般社  
団法人ゼンコロ、特定非営利活  
動法人日本障害者協議会、全国  
社会就労センター、日本セルプ  
センター、東京都セルプセンター  
などにおいて積極的に役割を果  
たしています。また、従業員等が、  
対外的な立場において充分に役  
割発揮ができるように、可能な  
限り配慮し支援しています。

(6)地域活動

・拠点ごとの地域活動においては、  
各自自治体との連携を深め情報交  
換を密にしなが、地域福祉の  
向上ならびにニーズに応じた障  
害者福祉の充実に努めています。  
また、地域の福祉関連ネットワー  
クには積極的に参画し、重要な  
社会資源になり得ることを目指  
しています。

3.各事業本部の実績概要

コロナ禍における制限の中、各拠  
点では、影響を最低限に抑える努力  
をし、就労支援事業の安定経営なら  
びに福祉支援の充実、職場環境づく  
りに取り組んでいます。

(1)法人本部(事務局)

法人全体および法人内の各事業  
が抱える諸課題への対応、事業運営  
における改善などにおいて役割を果  
たしています。年間の教育研修計  
画の見直しや、法人全体の財務運  
用ならびに各拠点の事業運営に貢  
献し、総務・事務部門の連携によ  
り的確な情報提供・共有に努めて  
います。プライバシーマークは5  
回目の更新審査を受審しました。

(2)福祉事業本部(グループホーム等、  
トリーコロ生活支援センター)

地域生活を支援する事業として、  
グループホーム、短期入所、居宅  
介護事業等を運営しています。生  
活の場ということに留意して感染  
予防対策を講じながら、事業運営  
の安定と支援の質の向上に努めて  
います。コロナー中野と連携して  
いた特定相談支援事業については、  
本年度から当事業所で実施し、中  
野区から受託した中野区障害者自  
立支援協議会の事務局業務は、コ  
ロニー中野に引き継ぎました。

(3)IT事業本部(トリーコロ情報処理セ  
ンター(事業部、職能開発室、デジ  
タルメディアセンター)

法人内では、IT技術等を介し  
て法人内各事業所に関わり、ネッ  
トワーク委員会などをつうじて横断

的に役割を果たしています。事業部  
では、自治体からの受託事業が1自  
治体のみになり、厳しい状況が続  
いています。また、感染予防対策も自  
治体の実態に合わせて対応せざる  
を得ない状況です。デジタルメディ  
アセンターでは、関連業務を含めた  
トータル事業として、既存顧客の深  
耕ならびに新規顧客の獲得を目指  
しています。職能開発室では、重度  
障害のある人のIT教育や在宅就  
労支援などを実施し、訪問教育な  
どはオンライン教育に切り替えるな  
どして対応しています。

(4)社会就労事業本部(コロナー中野、  
中野区仲町就労支援事業所、コロ  
ニーもみやま支援センター、コ  
ロニー東村山、トリーコロ青葉ワー  
クセンター)

コロナ禍の状況の中では、在宅支  
援、時短利用など一人ひとりの状況  
を把握しながら、あらゆる支援方法  
を駆使して対応しています。就労支  
援活動では、とりわけ印刷事業が深  
刻な状況であり、他の事業でも当面  
は辛抱する覚悟をしなければなりま  
せん。コロナー中野、コロナーもみ  
じやま支援センターでは、生活介護  
事業を中心により重度の方の受け入  
れを充実させています。仲町就労支  
援事業所は次期の指定管理契約に

向けて準備しました。コロナー東村  
山、トリーコロ青葉ワークセンターで  
は、就労支援事業とともに障害者就  
労支援室や特定相談支援事業、放  
課後等デイサービス事業において  
役割を果たしています。

(5)福祉工場事業本部(東京都葛飾福祉  
工場、東京都大田福祉工場)

東京都葛飾福祉工場では、障害者  
の自立支援、就労支援を利用者の立  
場に立ち、利用者一人ひとりが満足  
できるような利用目的に沿った支援  
を実施し、就労支援事業においては  
堅実な運営に努めています。民間移  
譲後の老朽化に伴う立石工場棟の建  
て替えについては、コロナ禍の影響  
で事業計画の立案等が遅くなり、東  
京都との協議が遅れています。

東京都大田福祉工場は、一拠点で  
の事業運営となり作業の効率化が図  
られ、売上高・加工高の確保に有効  
にはたかっています。基幹事業が  
印刷事業だけに就労活動では大きな  
影響を受けることとなりました。民  
間移譲後の二期工事にあたる駐車場  
等の外構工事は、2021年4月の  
竣工を目前に進めています。障害福  
祉サービス事業は、困難な課題を抱  
え行き場のない人々たちも視野に入れ、  
利用者が抱える様々なニーズや課題  
に応えられるよう努力しています。

**表1 在籍者の推移**

自2020(令和2)年4月1日 至2020(令和2)年9月30日

(単位：人)

	前年度末 在籍者数	期中増減				主な減員理由			上半期末 在籍者数
		増員		減員		自己都合	一般就労	疾病、その他	
雇用就労者	94	2	(0)	4	(0)	4	0	0	92
	(79)	(2)	(0)	(2)	(0)	(2)	(0)	(0)	(79)
事業・施設の利用者	413	29	(0)	12	(0)	7	5	0	430
その他	107	14	(0)	19	(0)	2	3	14	102
障害がある在籍者(計)	614	45	(0)	35	(0)	13	8	14	624
	(79)	(2)	(0)	(2)	(0)	(2)	(0)	(0)	(79)
障害がない在籍者	280	10	(0)	8	(0)	8	0	0	282
合計	894	55	(0)	43	(0)	21	8	14	906
	(79)	(2)	(0)	(2)	(0)	(2)	(0)	(0)	(79)

- (注) 1) A型従業員については、障害がある雇用就労者に含めた上で下段の( )で再掲している。  
 2) 増員および減員の各右欄には法人内異動を( )で表記している。  
 3) 「その他」にはグループホーム利用者・在宅パソコン講習生・放課後等デイサービス利用者・定着支援利用者を含む。  
 4) 在籍者数には非常勤嘱託医を含まない。

**表2 法人単位貸借対照表**

2020年 9月30日現在

第三号第一様式(第二十七条第四項関係)

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	3,965,933,816	4,427,251,063	-461,317,247	流動負債	1,367,710,745	1,810,204,374	-442,493,629
現金預金	2,641,034,427	2,513,235,977	127,798,450	短期運営資金借入金	300,000,000	300,000,000	
事業未収金	699,779,184	1,447,200,025	-747,420,841	事業未払金	530,157,487	1,153,347,791	-623,190,304
未収金	14,945,603	11,261,643	3,683,960	その他の未払金	12,887,466	18,100,661	-5,213,195
未収補助金	11,563,134	6,311,430	5,251,704	1年以内返済予定設備資金借入金	12,978,000	35,196,000	-22,218,000
受取手形	68,851,887	128,425,702	-59,573,815	1年以内返済予定リース債務	49,213	261,835	-212,622
貯蔵品	2,758,724	2,919,972	-161,248	1年以内支払予定長期未払金	5,156,894	9,926,160	-4,769,266
商品・製品	269,502,791	259,086,017	10,416,774	未払費用	34,561,478	63,434,882	-28,873,404
仕掛品	20,152,235	16,177,559	3,974,676	預り金	69,998,091	20,917,611	49,080,480
原材料	23,884,467	24,450,422	-565,955	職員預り金	21,619,449	16,643,807	4,975,642
立替金	8,217,329	4,452,035	3,765,294	前受金	74,122,899	16,925,224	57,197,675
前払金		43,206	43,206	仮受金	1,200,000		1,200,000
前払費用	18,672,243	15,534,378	3,137,865	賞与引当金	127,828,553	159,587,227	-31,758,674
前払費用(非資金)	75,600		75,600	未払税金等		15,863,176	-15,863,176
短期貸付金	740,771	740,771		仮受消費税	177,151,215		177,151,215
仮払金	34,597,509		34,597,509	固定負債	852,831,831	854,530,851	-1,699,020
徴収不能引当金△	1,779,642	2,588,074	-808,432	設備資金借入金	401,626,000	401,626,000	
仮払消費税	152,937,554		152,937,554	リース債務	50,610		50,610
固定資産	5,504,223,349	5,605,399,658	-101,176,309	退職給付引当金	432,715,815	435,193,861	-2,478,046
基本財産	3,342,750,432	3,407,510,731	-64,760,299	役員退職慰労引当金	3,484,374	3,484,374	
土地	812,128,671	812,128,671		長期未払金	14,955,032	14,226,616	728,416
建物	3,581,490,770	3,581,490,770		負債の部合計	2,220,542,576	2,664,735,225	-444,192,649
建物減価償却累計額△	1,050,869,009	986,108,710	64,760,299	純 資 産 の 部			
その他の固定資産	2,161,472,917	2,197,888,927	-36,416,010	基本金	300,915,620	300,915,620	
土地	298,950,200	298,950,200		基本金	300,915,620	300,915,620	
建物	717,916,931	716,150,931	1,766,000	国庫補助金等特別積立金	2,571,487,605	2,636,706,774	-65,219,169
構築物	136,089,651	136,089,651		国庫補助金等特別積立金	2,571,487,605	2,636,706,774	-65,219,169
機械及び装置	818,941,826	787,485,216	31,456,610	その他の積立金	918,723,824	948,723,824	-30,000,000
車輛運搬具	73,274,458	73,274,458		その他の積立金	113,000,000	113,000,000	
器具及び備品	284,962,016	278,500,868	6,461,148	施設整備等積立金	20,000,000	50,000,000	-30,000,000
建物減価償却累計額△	423,445,065	411,669,471	11,775,594	移行時特別積立金	785,723,824	785,723,824	
構築物減価償却累計額△	60,756,675	57,171,146	3,585,529	次期繰越活動増減差額	3,458,487,540	3,481,569,278	-23,081,738
機械及び装置減価償却累計額△	711,745,224	701,969,822	9,775,402	次期繰越活動増減差額	3,458,487,540	3,481,569,278	-23,081,738
車輛運搬具減価償却累計額△	62,507,428	59,833,468	2,673,942	(うち当期活動増減差額)	-53,081,738	131,182,223	-184,263,961
器具及び備品減価償却累計額△	184,274,116	175,521,110	8,753,006				
権利	16,500	19,500	-3,000				
ソフトウェア	51,973,945	58,245,294	-6,271,349				
退職給付引当資産	292,538,026	296,467,271	-3,929,245				
その他の積立資産	918,723,824	948,723,824	-30,000,000				
差入保証金	2,323,430	2,350,430	-27,000				
長期前払費用	2,037,585	1,296,286	741,299				
その他の固定資産	7,230,375	7,287,375	-57,000				
徴収不能引当金△	777,342	787,342	-10,000				
資産の部合計	9,470,157,165	10,032,650,721	-562,493,556	純資産の部合計	7,249,614,589	7,367,915,496	-118,300,907
				負債及び純資産の部合計	9,470,157,165	10,032,650,721	-562,493,556

# くすぴくす

T O P I C S

## コロナー中野

### ちよひじや変わった「コロナー祭り」

10月17日土曜日に第25回コロナー祭りを開催しました。今年は新型コロナウイルスの影響があり、行うことができないのかどうか不安な面もありましたが無事に終了することができました。

例年であれば、5月はじめごろから実行委員会を開催し準備をすすめていくところですが、今年は緊急事態宣言による在宅勤務が5月末まで続いたこともあり、初回の実行委員会を開催したのが7月末となりました。日を追うごとにコロナウイルスへの感染対策には慣れてきましたが、実際にイベントを行うとなると様々な課題が現れ、考えさせられる状況でした。とりわけ、近隣でコロナウイルスの集団感染が発生したこともあり、地域のイベントが軒並み中止となったため、今回のコロナー祭りは地域の方は招かず、所内のみでの実施となりました。

コロナー中野の事業をもっと知ろうということで、各部署で普段行っている作業を体験するワークショップを開催する運びとなりました。具体的には、利用者さんを3グループ



に分け、アイシングクッキー、ビーズブレスレット、キャップフラワーの3種類のものづくりを、場所を交代しながら体験しました。

あれこれと不安もありましたが、始まってみれば利用者の皆さんも真剣にものづくりに取り組み、仕事の時と違う様子が印象的でした。キャップフラワーはペットボトルのキャップに粘土を詰め、そこに様々な造花などを挿すのですが、できあがった作品はそれぞれとても個性的で、お人柄がよく表れていたと思います。

お昼ごはんは、コロナー中野のベーカー「ころ・ころ」で作ったお弁当を食堂で食べました。主菜・副菜がそ

れぞれ7種類も用意され、各自食べたものを1つずつ選ぶのですが、色々迷い主菜を2つ取るうとする人がいたりして、かなりにぎやかな様子でした。おいしいお弁当を食べ始めると食堂が静まり、ものづくりの時とも違う雰囲気でお腹も満腹になり、充実したコロナー祭りの締めくくりとなりました。

業務課 物販担当 吉田昌信

## 中野区仲町就労支援事業所

### 良か（余暇）プログラム

仲町就労支援事業所では月に2回、余暇プログラムを行っています。

余暇プログラムですので工賃の対象にはなりません。参加は自由です。ですので、皆さんが興味を持って参加して頂けるものと思いい、毎回内容を考えています。

例年皆さんが楽しみにしているパーベキューや宿泊訓練も余暇プログラムの一つです。しかし今年には新型コロナウイルスの影響で春に行っていたパーベキュー、秋に行っていた宿泊訓練も中止になってしまいました。感染のリスクを避けるため、美術館や酉の市などへの外出も控えています。そうすると事業所内でできること、そして

皆さんが興味のあること…それは美味しい物を食べることです。仲町就労支援事業所にはコンロが5口ある立派な調理室があります。その調理室と食堂を使い、今年は色々なものを作り、食べてきました。

春はバーベキューの代わりに「旬を味わおう」ということで、たけのご飯や新玉ねぎのかきあげ、鰻をおろして鰻フライも作りました。甘い物ではクレープにチーズケーキ、バナナケーキにお団子も作りました。お蕎麦を打ったり、生バスタを作ったり、そのうちお店が開けそうです。

夏前には今年の宿泊訓練の中止が決まり、所長の「暑気払いは豪華にしよう」の一声でローストビーフを8キロ取り分けを行い、食べている間は会話は一切しない、会話をしている間はマスク着用の上、距離を取って頂くというかたちを取りました。例年とは違う、静かな暑気払いとなりましたが、皆さん楽しんで頂くことができました。



4月には味噌を仕込んだのでそろそろ食べごろです。味噌を使ってどんな料理を作るか考え中です。このように書くとおおまかですが、プロプログラムのようですが、スライムを作ったり、陶芸を体験したりもしています。\*どのプログラムも感染対策をした上で行っています。



支援課 係長 今井良志見

## コロナもみじやま支援センター

### 河口湖へ行きました

#### 感染症予防策と行事の開催

今般の新型コロナウイルスの流行に伴い、コロナもみじやま支援センターでも日々の検温、マスク着用の励行、入館時の手指の消毒をはじめ館内の定期的な消毒や昼食時の密集対策を行うなど、感染症予防策に留意しながら今年度の事業を続けて

きました。緊急事態宣言の発令下においては、通所を控えて在宅支援を選ばれる方、通所して作業など日中活動をされる方、それぞれ各利用者やご家庭の状況によるニーズに対応しながら開所を継続しました。

利用者の皆さんには様々な場面で状況の変化に耐えていただくことが多く、少なからず負荷を感じる日々となっていたことと思います。一方で上半期は行事に関しても実施を見送る、事業所として余暇活動を提供できていないことは気がかりのひとつでした。そこで下半期は、新型コロナウイルスの流行の状況には注意を払いつつ予防に十分な配慮をしたうえで、いくつかの行事を開催する運びとなりました。例年多くの利用者が楽しみにしている一泊の宿泊訓練については開催を見送りましたが、代わって日帰りの行楽イベントを11月20日に行いました。

河口湖付近でほうとう鍋などの昼食をとったのち「音楽と森の美術館」へ赴きました。雨が心配されましたが天候は大きく崩れることもなく、虹が架かっているのも見えました！気温は比較的暖かく終日気持ちよく過ごすことができました。

実施にあたっては公益社団法人日本バス協会の対策ガイドラインにより観光バスの感染症対策を確認、それに加えて定員の六割程度の乗車に絞り密集を削減。また食事の際の着座も千鳥配置で対面を極力避けるようにするなどの感染症予防策を講じました。

例年と比べると規模を縮小しての開催ではありましたが、56名の利用者が参加され楽しかったとの声が多く寄せられています。

今後は例年開催しているレクリエーション大会、中止となった地域のまつりに代わるイベントを実施する予定で、それらについても感染症予防に配慮した実施の在り方を検討しています。引き続き利用者の皆さん





の安全と多様な活動の提供を両立させていけるよう努めたいと思います。

就労支援1課 課長 落合桂太

## コロナー東村山

### 大ストラックアウト& BINGO大会

今年には新型コロナウイルスの感染拡大にともない、イベント・会合などの様々な社会活動が延期や中止となつていきます。コロナー東村山でも、旅行や暑気払いなどのイベントが軒

並み開催できずにいます。このままでは、今年には楽しいイベントが一つも行えない！ 密になつたらアウトです！ でも、楽しいイベントを利用者も従業員も欲している！

そこで9月12日、本来ならコロナー祭りの開催日に、密にならない大ストラックアウト& BINGO大会を企画開催しました。

まず、朝の体温確認、手洗い、マスク装着は当然のこと。全体を9班に分け、密にならないよう換気をした別々の部屋に待機。ストラックアウトとBINGOは、Zoo mにて会場中継を行うという2020年スタイルのイベント開催となりました。



大ストラックアウト大会の様子

午前中は、大ストラックアウト大会を行いました。

広い印刷工場の中を離れた3箇所に分け、1

チームごとに得点を競わせる形をとりました。

感染対策として、投げると次の人との間隔を空け、ボールを投げるときも必ずビニール手袋着用です。

Zoo m中継によって、離れていても会場の熱気が伝わりました。上位チームには賞品が出るということで、静かなながらも熱いプレーが行われました。

お昼は、毎年コロナー祭りで好評だったカツカレーを給食で振る舞いました。パーティションで区切り、食事の中のおしゃべりは禁止の少しさみしい感じの食事タイムとはなりませんが、みんな味には満足していました。

午後は超豪華商品が当たるBINGO大会。中継用のカメラを3台用意し、BINGO全体、番号専用と



食堂の感染防止対策もバッチリ

当選者を撮影し、当選者だけが抽選会場に行く形で行いました。

番号が出るたびに、皆大声は出せないですが一喜一憂していました。当選者は歓声でなく拍手で迎えました！

最後は、全員にお菓子とジュースを配り解散しました。利用者、従業員とも、楽しく一日を過ごせたようです。

コロナー祭り実行委員長 錦織 彰

## トーコロ青葉ワークセンター

### 日帰り旅行！…に替わり イベントを行いました!!

令和2年11月6日(金)に日帰り旅行に替わるイベントを事業所内で行いました。新型コロナウイルス感染のリスクを考え、事業所内でもなるべく密にならないよう最善の注意を払いながら開催しました。

旅行委員会にて準備を進めていく中で、いかに「旅行の気分を味わってもらえるか」といったテーマのもと、様々な意見を出し合いました。その結果、多くの利用者の皆様が楽しみ、満足そうにしている様子が伺えるイベントとなりました！



の皆様に回ってもらおうものになりました。4Fから北海道、東北地方、近畿地方、九州地方とし、各ブースにはご当地ならではのお土産品を用意しました。旅行に行ったらお土産品を選んで買う、旅行ならではの楽しみ方を体験して頂きました。また飾りつけにも各地方の特色が出るようなものをコロニー東村山に依頼し作成して頂きました。雰囲気も少しは味わって頂けたかと思えます。



イベントの概要として「トーコロ青葉ワークセンター（4階建て）の各階を地方に見立て、旅行と同様に班を作成し、班長（従業員）の指示のもと利用者

それとは別に映像コーナーも用意しました。ここでは『モヤモヤさまぁ〜ず2』のトーコロ青葉ワークセンターのある東村山市をぶらり散歩する回を放映しました。利用者の皆様も馴染みがあるので「ここ知ってる！」「住んでいるけど初めて知った」等、映像を通して外出した気分を堪能されていました。

新しい試みとしてVR（バーチャルリアリティ）機器をレンタルし、利用者の皆様に体験していただきました。「恐竜映画」という映像コンテンツを用意し、ゴーグルをかけると360℃恐竜の世界を体験できるというものです。事前準備の段階で、興奮しすぎてしまわないか、酔って気持ち悪くなってしまうのではないか等リスクの話もあったため、それに対応する準備もしつつ提供しました。実際に体験して頂く時、皆様とても楽しそうな様子でした。初めての体験であまり周りを見渡せなかった利用者の方も、最後は満足そうな顔をされていました。

1F駐車場にはゲームコーナーを設定し、射的やストラックアウトを提供しました。景品にはお菓子を用意し、終わった後に食べられるよう環境も整えました。回数制限をあえて設けなかったため、何回も参加された利用者の方はたくさんのお菓子

を満足そうに持たれていました。

昼食には横浜名物、崎陽軒のシユウマイ弁当とデザートにプリンを召し上がって頂きました。意外にも食べたことがない方がほとんどで、とても美味しそうに召し上がっていました。

イベントは14時に終了と本来の旅行よりは短いものではありましたが、帰る利用者の皆様は両手にお土産と、どこか旅行に行ってきたのではないかと満足そうな笑顔でいっぱいでした。

1年に1回の日帰り旅行を楽しみにされている方も多くいましたが、少しでも期待に添えるイベントになったのではないかと思います。また、みんなで楽しむのに協力をしてくれた利用者や従業員の方々にも感謝です。来年度にはコロナが落ち着き、日帰り旅行が開催できることを心待ちにしております。

営業課 情報処理係 深澤 辰朗

### トーコロ情報処理センター事業部

#### コロナ禍の新人です。

2020年3月21日よりトーコロ情報処理センター事業部で勤務する

ことになりました福田と申します。

私が勤務する事業部では、データ入力や電話交換業務、総合案内業務を行っております。私が所属する大塚班の主な業務は、データ専用入力機を用いたデータ入力です。最初は数字を使ったデータ入力を行い、慣れてきたところで仮名入力、さらに慣れてきたところで漢字（連想記憶方式）入力を行っていきます。漢字入力の習得までには、早い方でも3年はかかると聞いており、私は数字や仮名を使ったデータ入力を行います。データの中には個人情報扱うこともあり、細心の注意を払って入力しています。

入職して間もないころは、今までと全く異なる環境で何もかもが初めてのことだったので、右も左もわからず毎日頭がパンクしそうになりました。がら過ごしていました。慣れるまで必死で、業務終了時間にはヘトヘトだったことを覚えております。

さらに新型コロナウイルス感染症の影響により一時期は仕事がなくなってしまうたり、全事業所の新人が集まって行われると聞いていた新人研修がweb上で行われたり、事業所見学が中止となるなど、異例の事態となりました。

入職してからいまままで経験したこ

とのない出来事ばかりで戸惑いや不安もありましたが、時が過ぎるにつれ段々と環境の変化や仕事に慣れていきました。今では、所長や部長、諸先輩方から丁寧にご指導いただきながら、スムーズに業務を行えるようになってきています。

現時点では、できることはまだ少ないですが、これからも様々な仕事に対応できるよう、経験を積み重ね、さらに知識を頭に入れ、高い技術力を身につけ、東京コロナの発展に少しでも貢献していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

事業部 福田 葵衣

## 東京都葛飾福祉工場

### 畑作業

支援部支援一課では、今年度より立石工場から車で10分程の区民農園を借り、畑作業を始めました。現在も季節に合わせて色々な野菜を育てています。

新型コロナウイルスによる利用者さんの通所自粛期間中は、支援員だけで畑に通いましたが、通所再開後



は、利用者さんと一緒に楽しみながら野菜作りをしています。

夏季にはジャガイモ、ピーマン、唐辛子、パプリカ、きゅうり、ミニトマト、枝豆を育てました。みんなで大量の汗をかきながら、雑草を抜いたり、水やりをしたりして大変なこともありましたが、面白い発見もありました。ジャガイモの中にミニトマトのような実を見つけたのです。近くで畑作業をしている方に伺いますと、ジャガイモの実だそうです。ジャガイモの生育が悪くなってしまうと教えて頂きました。



植え付けから三か月ほどしますとよいよ収穫です。丹精込めて育てた野菜を収穫したときの喜びや達成感やみんなの笑顔など、とても大切な体験となりました。

収穫した野菜は、所内販売をしたり、簡単な調理をしたりしてみんなでおいしくいただきました。特にたくさん収穫できたジャガイモは、ジャガバターやポテトサラダを作りましたが、何よりもみんなで一緒に育てた野菜の味は格別でした。

夏のうだるような暑さもようやく和らぎ、涼しくなると、今度は秋野菜の時期になります。今は大根やブロッコリー、ニンジン、シヨウガなどを育てています。「大根は、おでんにしようか」などとみんなで盛り上がりつつあります。次にどのような野菜を育てようか考えることも畑作業の楽しみの一つです。

支援部支援一課 木下直人

## 東京都大田福祉工場

### フェイスブックより

東京都大田福祉工場のフェイスブックでは、就労継続支援B型の利用者

の方が中心となって、工場の皆さんの取り組みを随時更新しています。今回はその中から2つのトピックスについて紹介してもらいます。

\*

### 「オリジナルティッシュ完成！」

大田福祉工場では、来客や見学者にオリジナルのポケットティッシュを配る予定です。オリジナルティッシュは、パソコンですべて就労継続支援B型の利用者がデザインし、全部で6種類出来ました。

ポケットティッシュのデザインを依頼された時は、最初は自分でできるのかなあ〜と思いましたが、グラフィックデザインに興味があったので、やってみたいと思いました。パワーポイントの使い方や文字を見やすくするやり方、背景の色がどうやったら見やすくなるかなど支援員さんから教わりました。最初は分からなかったですが、やり方が分かると楽しくって一日中夢中になってやっています。



た。自分のパソコンの技術の幅も広がり、個人的には大田福祉工場のみんなが働いている風景のデザインのテイッシュが気に入っています。

大田福祉工場のパンフレットとチラシ入りオリジナルテイッシュのセットを作りました。大田福祉工場にお越しの際にお配りします。

秋から冬にかけてテイッシュが活躍すると思いますので、このポケットテイッシュで元気になりましょう！

\*

### 「都会で炭焼きプロジェクト」

週に1度、近くの公園の中にある暖炉で炭を作り、就労支援課の支援員と利用者5〜6人で行きます。

まず、炭焼きは、木の枝をのこぎりで小さく切って、暖炉の中に入れて、炭になるまで燃やすお仕事です。普段は工場内の作業をしているので外での炭焼き体験は楽しいです。でも、夏場は熱くって大変です。

このプロジェクトは、チップ化した剪定枝廃材を材料に炭を製造し、これを土壌改良材として土に戻す自然循環のサイクルを、都会のなかに構築しようとする活動です。大田福祉工場は特定非営利活動法人「都会で炭焼きプロジェクト」とともに、この活動に参加しています。

大田福祉工場のフェイスブックでは



このようなイベントや職員さんのインタビューなど、面白い記事を随時更新しているので、是非チェックしてみてください。僕たち利用者が中心になって更新しています。

良かったら見てください。

就労継続支援B型 大串亮太

## 福祉事業本部

### コロナ禍のグループホーム

中国・武漢市から世界中に広まった新型コロナウイルスは、流行り始めはダイヤモンドプリンセス号という限られた空間での出来事であり「対

岸の火事」と捉えていた方も多かったと思います。緊急事態宣言が出されてからのステイホーム期間は、多くの方が自粛生活を余儀なくされ、障害のある方もない方も通常の生活を送ることが難しくなりました。

会社やお店、福祉作業所は在宅勤務や時短営業、もしくは休業などができると思いますが、入居者にとって「我が家」であるグループホームは自粛や縮小ができる業種ではありません。世話人のメンタルにも気を配りながら、とにかく入居者の方が新型コロナウイルスに感染しないよう万全の対策をして運営を続けました。マスクやトイレトペーパー、除菌用アルコールなどが枯渇し、治療薬やワクチンのない不安な状況下、やむなく退職する世話人も出ました。ご自身に持病がある方、高齢のご家族と同居されている方にとっては断腸の思いではなかったでしょうか。

緊急事態宣言の期間は、入居者の方には、グループホーム内の密を防ぐため、できるだけ実家で過ごしていただくことをお願いしました。結果として天神山グループホームがしばらくの間入居者のご利用がゼロとなり、その他、利用率が減ったグループホームもありましたが、ほとんどのグループホームは平時と同様の運

営をしてきました。

感染防止対策には日々努力しており、毎朝の検温のための非接触体温計、手指消毒を確実にしていた。ためのアルコール消毒液、空気清浄機を購入するなど設備も整えてきました。また、朝夕の食事時間も時間をずらして食べていただき、どうしても向かい合ったり隣り合わせになってしまう場合のために、アクリル製のパーティションなどを設置しています。一日一度はアルコールで各所を拭き、換気もするなど、世話人の業務負担は平時に比べてかなり増えています。

現在も毎日多くの感染者が出ており、このまま先の見通せないまま新年を迎えることとなります。2021年も入居者の生活を支えるべく、世話人一同がんばっていきたいと思います。

グループホーム課

課長 高塚孝太郎



# 法人の主な動きから

## 第32回アートビリティ大賞 式典をオンラインにて開催

2020年12月11日、第32回アートビリティ大賞式典を開催しました。本年度は新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、会場をコロニー中野の会議室として協賛企業のご来賓と審査員代表のみをお招きし、受賞者の方々や協力・後援をいただいている企業の皆様、作家の皆様にはZoomによるオンライン配信にてご参加いただきました。

本年度の受賞者は、アートビリティ奨励賞に廣瀬美緒子さん、日立キャピタル特別賞に岡崎妙子さん、そしてアートビリティ大賞は尾崎わたるさんでした。（今号の表紙は尾崎さんの作品です。P.15のアートビリティギャラリーに作家紹介がありますので、あわせてご覧ください）

式典では、会場内にプロジェクトを設置し、ご自宅にいる受賞作家とスクリーン越しに表彰を行いました。直



接賞状をお渡しできないことは残念でしたが、スクリーンいっぱいに映し出された受賞者のみなさんの喜びの表情は、配信をご覧いただいている多くの方々に届いたことと思います。

また、例年では式典に参加が難しい遠方にお住いの作家の方々にも、久しぶりに参加していただくことができ、オンラインならではの良さも実感しま



した。

初めての試みで不慣れなことも多くありましたが、クライアント企業様をはじめ、多くの関係者のみなさまのご支援とご協力により、無事式典が開催できましたことに、あらためて感謝申し上げます。

アートビリティ大賞作家展についても、本年度は予定していた外部会場



での展示を中止し、コロニー中野の会議室等にて開催することとしました。2021年2月12日まで、密を避けるために事前予約制にて実施しております。

また、式典当日の様子や作家展の内容は、編集の上アートビリティホームページからも発信させていただく予定です。ぜひご覧ください。

コロナ禍で大変な状況ではありませんが、アートのもつ力を信じ、これからも活動を続けて参りたいと存じますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

アートビリティ事務局 中島倫子

## 東京コロニー先達者の足跡にふれた書籍の紹介

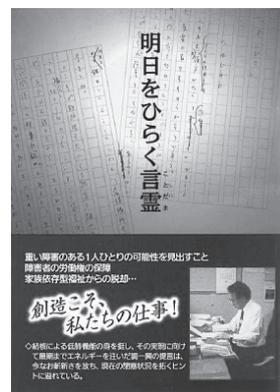
調一興氏、勝又和夫氏、丸山一郎氏は、東京コロニーの歴史の中でも特筆すべき人物であり、今日の東京コロニー、ひいては日本の障害者福祉の制度作りになくてはならない人と言えます。それぞれ一般社団法人ゼンコロ、やどかり出版から以下の書籍が出版されています。

コロナ禍のなか、障害者の命そのものが危うい場面も数多く耳にし、事業運営の厳しさを目の当たりにしている法人事業所も多い中、障害者の権利と生活をいかに前に進めるかのヒントも見出せるのではないかと思います。

まだ手に取ったことがない方がいらっしやいましたら、時代を超えて聞こえる先達の声に触れていただきたく、あらためて紹介させていただきます。

### 『明日をひらく言霊』

調一興 著作選集



「重い障害のある一人ひとりの可能性をみいだすこと」

「障害者の労働権の保障」

「家族依存型福祉からの脱却：」

「創造こそ、わたしたちの仕事！」

結核による低肺機能の身を挺し、その実現に向けて最後までエネルギーを注いだ調一興の提言は、今なお斬新さを放ち、現在の閉塞状況を拓くヒントに溢れている。

編集・藤井克徳、佐藤久夫、小川浩、河村ちひろ ほか

2,500円（税込）

2011年4月15日発行

お求めは一般社団法人ゼンコロのホームページまたは電話（03・3952・6166）まで

### 『生き抜くことは拓くこと』

障害と向き合いながらの出会い録

勝又和夫 著



奥飛騨の寒村で生を受けた著者は、3歳の時に思いがけない事故で脊髄カリエスに罹患、中学3年で車椅子生活となる。東京コロニーの授産生として働き始めた著者は、53歳で東京コロニーの理事長となるが、2012年体調を理由に退任する。その道のりは波乱に富んでいる。

障害のある人への支援に邁進し、人を信じること、組織を束ねること、先を読むこと、未来を描くこと：著者の息遣いが伝わってくる、いのちと真向かいに向かい合って生きてきた勝又和夫の人生が、今を生きてきた人に投げかけるものは大きい。

（やどかり出版書籍紹介文より抜粋）  
2,000円（税別）  
2013年7月1日発行

お求めは「やどかり出版」のサイト、または電話（048・680・1891、1892）まで

### 『常に先駆け走り抜く』

障害のある人と共に生きた丸山一郎

渡辺忠幸 著



「ユーモア忘れず、常にさわやかに」

東京パラリンピック、わが国初の福祉工場、国際障害者年、厚生省障害福祉専門官、アジア太平洋障害者の十年、そして死を賭してのILOへの提訴と、戦後の日本における障害者の制度や運動の、歴史を画した動きの中を常に先頭で走りぬけたひとりの男の瞳目すべき生涯を、関連資料を含め500頁にわたって綴る。

長野県松本深志高校、慶応義塾大学工学部を卒業した丸山一郎がなぜ、障害者福祉の世界に飛びこみ、生涯のテーマとしたのか。その最初のきっかけは、50年前の東京パラリンピックにあった。

1,944円（税込）  
2014年11月8日発行  
お求めは一般社団法人ゼンコロのホームページまたは電話（03・3952・6166）まで

# アートビリティ Artbility ギャラリー 45



## 『最果てまで』

尾崎 わたる (おざき わたる) さん

登録作家の尾崎わたるさんは、2000年にアートビリティ登録作家となりました。

当初から、プロペラ飛行機と犬のキャラクターをモチーフにした独自のストーリー性や独特な遠近感や構図が人気で、2002年に奨励賞、2003年に日立キャピタル特別賞、2004年に第16回アートビリティ大賞受賞と、一気に人気作家の階段を駆け上りました。

2010年頃からはクライアントの注文を受け、描きおろしのできる作家としての実力が評価され、アートビリティに貢献してくださっています。

今回の表紙「最果てまで」も東京の景色を描き下ろすという注文に応えた作品です。

このところ、お母さまが亡くなられたり環境が変わられたりということで、新規登録作品が少なかったのですが、1年半ほど前から第2の尾崎わたるさん人気沸き起こり、直近の1年間の使用件数と使用金額が群を抜いてトップであられましたので、今回、見事に第32回アートビリティ大賞を受賞。2004年の第16回に続く、16年ぶり2度目のアートビリティ大賞の受賞となりました。

尾崎さんから『一度登録された作品が、長年にわたり、色々な媒体に使用されて多くの人に見ていただけるのは嬉しいことです。3年前から富士山のみもとに住まうようになり、間近に見える雄大な富士山を「描きたい!!」と、思うこの頃です。』とのメッセージをいただきました。

尾崎さんの富士山が登録作品となり、「コロニーとうきょう」の新年号を飾る日を夢見て、また、登録作品のPRに励みたいと思います。

### 【作家プロフィール】

1948年生まれ。山梨県在住。  
1968年、武蔵野美術大学短期学部通信教育学部デザイン科中退。  
幼少期からプラモデルを趣味とし、小松崎茂氏に私淑する。  
エンブレムデザインの仕事に携わるが、43歳のとき脳内出血により、利き手側の右半身不随となり、入院生活を重ねリハビリを行う。  
プロペラ飛行機と犬のキャラクターをモチーフにした独自のストーリー性のある作品で、アートビリティの人気作家として活躍。

2000年 アートビリティ登録作家となる。  
2002年 「第14回アートビリティ大賞」アサヒビール奨励賞受賞。  
2003年 「第15回アートビリティ大賞」日立キャピタル特別賞受賞。  
2004年 「第16回アートビリティ大賞」大賞受賞。  
2020年 「第32回アートビリティ大賞」大賞受賞。

■アートビリティ…障害者の所得支援を続けてきた社会福祉法人東京コロニーが、アートの分野で力を発揮する人材を後押しし、その才能を収入に結び付けるために始めた事業です。約200名の作家による約5,000点の作品が揃ったアートライブラリーとなり、年間約400点の作品が使用されています。

## ご寄附のお礼

(2020年7月～2020年11月 総額 6,950千円)

下記の皆様より、当法人に対してご寄附を賜りました。ご支援に対しまして心より感謝申し上げます。

2020年7月 株式会社トライフ 様

2020年9月 株式会社サーフェイス 様

2020年7月 三菱商事株式会社 様

2020年9月 三菱商事株式会社 様

2020年9月 大和証券株式会社 練馬支店 様

2020年11月 全国本田労働組合連合会 様

◎文中の写真はご本人の了解を得て掲載しています。

# 東京コロニーのホームページ



東京コロニー メインページ  
<https://www.tocolo.or.jp/>



コロニー東村山  
<https://www.colony.gr.jp/colonyhigashimurayama/>



コロニー印刷  
<https://www.colony.gr.jp/>



デジタルメディアセンター  
<https://www.tocolo.or.jp/dmc/>



アートビリティ  
<https://www.artbility.com/index.html>



東京都大田福祉工場  
<https://www.ootafukushikojo.org/>



トーコロ情報処理センター職能開発室  
<https://www.tocolo.or.jp/syokunou/>



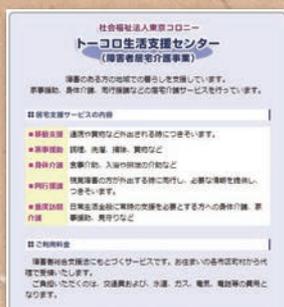
トーコロ青葉ワークセンター  
<https://www.colony.gr.jp/aoba/>



東京都葛飾福祉工場  
<https://www.fireman21.net/>



トーコロ情報処理センター事業部  
<https://www.tocolo.or.jp/joho/>



トーコロ生活支援センター  
<https://www.tocolo.or.jp/seikatu/index.html>



グループホーム  
<https://www.tocolo.or.jp/grouphome/index.html>



中野区仲町就労支援事業所  
<https://colony.gr.jp/nakatyoushienn/>



コロニーもみじやま支援センター  
<https://colony.gr.jp/momijiyama/>



コロニー中野  
<https://colony.gr.jp/colonymakano/>